

## 1 報告事項

まず今年度開催した歯科保健部会、こころの健康部会について報告した。こころの健康部会での取組みについて、志太・榛原地区では身体合併症を持つ精神科患者を受け入れる入院施設が無く、開業医への負担が増加しているという現状について委員長から発言があった。次に、第2次島田市健康増進計画管理委員会について報告した。各課の新規事業の取り組みや重点的に取り組んだ事業を報告した。

## 2 健康増進事業の取り組み

今年度、各団体で取り組んだ健康増進事業について報告、協議した。

### ・八木委員

毎年の講演会と歯周疾患検診を実施。歯周疾患検診の受診率が低いので、向上させなければならぬ。

### ・松永委員

地域医療感謝フェスタにて、肺チェッカーを用いた肺年齢測定を行った。参加者には健康意識が高い人が多く、喫煙者にもっと来てほしかった。

### ・古川委員

管内は糖尿病予備群、高血圧予備群、高血圧が県全体と比べて多い。「プラス10」を推進させる活動を行った。今年度は減塩に関する啓発用チラシを作成しており、4月以降に配布する予定。

### ・増田委員

健幸マイレージの普及啓発の活動を行った。参加者が固定しないように組長常会や講座で説明した。また、各地区での健康講座を様々なテーマで開催した。

### ・望月委員

健康づくりセミナーとして一般市民から広報等で公募した20名とともに全6講座を実施した。なかなか参加者が集まらず困った。男性の参加者が増えると良いと思う。

### ・寺田委員

ニュースポーツを中心とした種目の指導として出席した。委員は各地区から1名選出されているため、ニュースポーツの指導ができる種別について偏りが生じている。また、講座参加費が高くなることによる参加者の減少が懸念される。託児を設けるなどして若い世代の母親が参加できるようにしたい。

### ・大石委員

あいさつ運動として、小学生の登校時に実施した。小学生だけでなく、近隣住民全体への活性化になったと思う。また、10月末からは交通指導員を含む見守り隊を結成して活動した。

### ・小塩委員

早寝・早起きを心掛けて生活リズムを整えるような取り組み、食事は感謝の気持ちを持ち、

きれいなものも一口がんばろうの取り組みを園だけでなく家庭でも実施してもらいたい。またむし歯予防として、園ではフッ素を用いたむし歯予防、家庭では仕上げ磨きと、こちらも保護者と協力していきたい。

・栗田委員

4年生を対象に中部健康福祉センターから受動喫煙防止のための事業を行っている。また、ブラッシング指導に健康づくり課の歯科衛生士を呼んで、授業の中で健康づくりについて取り組んでいる。

・成岡委員

高齢者が閉じこもらないように月3回は外に出て居場所づくりができるような活動をしている。出前講座を依頼したり、町内の草取りをしたり、高齢者が生きがいをもって参加できるような取り組みをしている。

・亀山委員

健康診断を受診したときに助成金を交付している。今年度は昨年度の申請を上回っていて、受診者も増加している。

・畑委員

川根中学校が静岡県学校保健会健康推進学校として優良表彰された。ブラッシング指導を実施し、学校と家庭とでの連携を期待したい。

・森田委員

月2回火曜日の9時30分から10時までの30分間で、病院の待ち時間を利用した講座を行っている。病院の看護師、技師等が講師となり、転倒予防や日常生活における健康課題をテーマに講座を行っている。

・中村委員

健康づくり課では、しまだ健幸マイレージの推進を行った。今後は若い世代の参加者獲得に向けたイベントにも取り組んでいく。国保年金課では、対象者へ糖尿病性腎症重症化予防のための生活指導やセミナーへの参加を勧めている。

松永委員より

いろいろな団体を利用する。連携することができたら良いと思う。

成岡委員より

市民から体操教室をやって欲しいというような依頼があった。保健委員さんだけでできない場合は地区の役員を利用してやって欲しい。

公会堂で活動したくても、公会堂の使用料がかかるため活動できなかつたり控えてしまう。無償にすればいいと思う。

⇒各地区の公会堂は、その地区の方々が市からの補助金や貯めた資金を使って建てたものであるため、他地区で使用したい場合は使用料という形で負担をしていただいている。地区で決めたことになるが、行政としてもうまくできたら良いと思う。

鈴木副会長より

各団体が、他の団体と手を組むことによってパワーが増している。どこと組めばいいのか、どのようなことをやりたいのかという意見があれば教えて欲しい。

### 3 意見交換

健康診断受診への助成金について、申請件数が増えたのはなぜか。

⇒地道な声かけだと思う。訪問したときに「健康診断を受けましたか？」と聞いていった。後期高齢者の健康診断は検査項目も少なく、受診者にとっては日々の受診で受けている内容と同じになるので健診へのモチベーションがあがらない。どう工夫していくか今後考える必要がある。

歯周疾患病検診について受診率が低いとあるがどの程度なのか

⇒平成 26 年度の受診率は 3 %、近隣市町と比較しても低い。市の検診ではなく、歯石を取るなどの定期的に歯科医院に通う人は、高齢な方ほどしっかり通っている。

学校薬剤師としての講座の現状について知りたい

⇒講座が例年同じになっているのは課題と思う。視覚的に訴えるのは児童に効果はあると思うので、養護教諭とも協力していきたい。

特定保健指導の実績がとても良いが、どのように行っているのか

⇒平成 25 年度までは集団での保健指導を行っていたが、個別での保健指導に切り替えたため専属の保健師と管理栄養士による確実なフォローができています。

自治会連合会へ前回の会議の要約を報告したときのことについて紹介してほしい

⇒市民がまねてやってみたいと思えるようなチラシを作成・配布し、5～10 分程度の説明をすることをやってみたいと思った。

保健委員という立場で組長常会へ参加したときの反応はどうか

⇒全ての地区で組長常会へ参加できたわけではないが、金谷地区で特にしっかりやっていただいた。そこで保健委員の活動を一度に紹介できたことはメリットかと思う。

健幸マイレージの推進状況はどうか

⇒まだ新しい事業で、今年度からは健康の「康」を「幸」という字に変更した。景品には多くの方に興味を持っていただけるような魅力あるものを用意したので、是非、それぞれの団体での事業のときには健幸マイレージを活用して欲しい。

市民病院で開催されている待ち時間の院内講座についてはどうか

⇒当初は外部講師等をお願いしており、毎週で大変だった。その後、院内から手上げがあり現在のようになっている。毎回 25～30 人が聞いている。今年度は現在までに 17 回開催、残り 3 回の計 20 回の予定。

中部健康福祉センターで作成しているチラシの状況はいかがか

⇒塩分摂取量は 1 日 2g で良いが、現在は 1 日 8g ぐらい摂っている人がほとんどだと思う。チラシには徐々に減らしていく工夫について記載している。

団体と連携だけでなく、今起こっている問題を解決しようとしている。各団体のテーマだけでなく、例えば市で 1 つテーマを決めてそれを全部の団体が取り組む。それは地域活性化にもなるのではないか。